

2023-2024 フィンドレー大学・福井県奨学生月例報告書 4月

作成者：永井みちる
作成日：2024年5月9日

5月に入り、ついに9か月間の留学生活が終わろうとしています。4月は残り一か月を充実させるべく、様々な活動に取り組み充実していました。今回は、在デトロイト日本国総領事館、フィンドレー市長、フクビ USA への表敬訪問、日食、ミラクルフィールドについて報告します。

在デトロイト日本国総領事館訪問

在デトロイト日本国総領事館を訪問し、進藤総領事とお話させていただきました。私からは留学での経験を、進藤総領事はこれまで様々な国に行かれた中で印象的だったことをお話してくださいました。進藤総領事は様々な土地で山の色は何かと聞くそうです。日本人は当たり前のように山は緑だと答えますが、地域によっては他の色をこたえたり、そもそも山がないと答えたりする人もいます。オハイオ州は山がほとんどなく平らな地域です。山がないという答えにも納得しました。そのほかにもたくさんの経験を共有してくださり、どの話もとても興味深いものでした。留学にきて私の世界は広がりましたが、まだまだ知らない世界がたくさんあるのだということを改めて実感しました。

その日の午後には、フィンドレー市長である Muryn 市長のもとを訪れました。Muryn 市長は以前日本を訪れたことがあり、またすぐに日本に行きたいとおっしゃっていました。お忙しいスケジュールの中でも日本とフィンドレーのことについて考えてくださっていることを感じ、感激しました。



フクビ USA

オハイオ州デイトンにあるフクビ USA を訪問させていただきました。フクビ USA は福井県に本社を構えるフクビ化学工業株式会社のアメリカ支社で、窓枠をはじめとした様々なプラス

チック製品を扱っています。はじめにフクビ化学についてお話を伺い、高い技術力を持つだけでなく、廃材の再利用によって環境に配慮した製品を作っていること、SDGs への取り組みで着実に成果を出していることなど、社会問題への真摯な取り組みのお話がとても印象的でした。工場見学では材料を混ぜるところ、製品を製造するところ、廃材を再利用できるような処理するところなどを見せていただき、大変興味深かったです。また、最後に社員の皆様に向けて留学で経験したこと、学んだことについてプレゼンテーションをさせていただきました。プレゼンテーションの準備を通してこの一年を振り返り、自分の中で得たものを整理することができました。発表は緊張しましたが、皆様が温かく見守ってください、楽しい時間を過ごすことができました。



日食

4月8日、オハイオ州で皆既日食を観測することができました。当日は様々な地域からフィンドレーに人が訪れることが予想されたため、交通安全のために授業はすべて休講になり、大学内では様々なイベントが行われました。当日は空に薄く雲がかかっていましたが、幸いなことに太陽を覆い隠すほどではありませんでした。日食が始まる30分ほど前になると大学内の広場にたくさんの人々が集まり始めました。私も友人と広場に行き、配られた日食グラスを片手に空を見上げて日食の開始を待ちました。その日は暑い日だったのですが、太陽が隠れ始めるとともに気温がだんだん下がり、あたりが夕方のように暗くなり始めました。太陽が完全に隠れた瞬間は、月の影から太陽の光が漏れ出し、神秘的な美しさに感動しました。友人によると、その場には皆既日食を見るためにイギリスやドイツなどの遠いところから訪れた方もいたそうです。



ミラクルフィールド

友人のケイティに誘われ、野球の試合を見に行きました。その試合には、ケイティが家族のように仲良くしているある一家の長男が出場しているということでした。彼は自閉症を持って

おり、試合に参加したのは障がいを持つ方々です。ミラクルフィールドというのはその試合が行われたフィンドレーにあるフィールドの名前で、一般的な野球場より小さく、地面はクッション性のある素材で車いすを必要とする方々に配慮されたつくりとなっています。また、試合には家族や運営団体の方だけでなく、フィンドレー大学のアメフトチームのメンバーがボランティアでサポートしていました。試合に参加する一人一人が、どのような障がいを持つかに関わらず全力で楽しそうに野球をしていたこと、また、手伝う人、観戦する人、すべての人が笑顔で、とても暖かかったことが印象的でした。ミラクルフィールドは住民の寄付によって作られたものだそうです。私もフィンドレーで過ごす間はマイノリティでしたが、マイノリティの方々が楽しみ、交流を持てる環境があり、それを支える人々がいることに感激しました。このような社会になれば、すべての人が生きやすい未来につながるのではないかと思います。私も帰国後、マイノリティの方の力になれるようなことをできたらと考えています。



おわりに

この9か月間、たくさんの人に出会い、たくさん挑戦をし、留学前は想像もつかなかったほどたくさんの学びを得ることができました。フィンドレーで過ごす一日一日が特別で、かけがえのない日々でした。綿谷さんと飯田さんをはじめとする福井県国際交流協会の皆様、フィンドレー大学の川村先生と青木先生、家族、友人たち、この留学を支えてくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。この留学で得た経験を今後自分の人生に活かし、そして福井県に貢献していきたいと思っております。

本報告書に関してご要望やお問い合わせ等ございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。 nagaim@findlay.edu